

広く、深く、自発的な学修をすすめたい学生のために、
各学部・学科で行われている専門的な教育プログラムである
主専攻の他に、9つの多彩な副専攻が開かれています。

挑戦×経験×出会い 副専攻 もう一つの学び

学生の声

食生産科学副専攻



辻井 陸斗 生命環境科学域 応用生命科学類
植物バイオサイエンス課程

国内、国外の食の安全管理について、現場で行われている対策や取組を、実際に現場を見て学ぶことができたので、より関心を持つことができました。

植物工場科学副専攻



岡山 雅 生命環境科学域 応用生命科学類
植物バイオサイエンス課程

植物工場科学副専攻では、大学内にある植物工場での実習を通して、安全な食料供給や農産物の周年供給といった環境保全型の生産システムを学ぶことができます。また、同時に光や温度など環境制御の方法も学ぶことができます。

創薬科学副専攻



中川 和樹 生命環境科学域 応用生命科学類
生命機能化学課程

この副専攻では主専攻での専門知識に加えて、様々な分野の知識を身につけることができます。さらに、講義だけでなく、実習を通して創薬研究に用いられる技術を体験することもできます。世界で活躍できる研究者を目指してみませんか？

地域連携副専攻 (CR副専攻)



後藤 真采 文学部

CR副専攻では、観光・防災・建築など複合的な視点で地域の魅力や課題を俯瞰することができます。また、実際に地域に足を運ぶことで「自分ごと」として地域と関わったことも大きな学びになりました。

GC・SI副専攻:GC (グローバル・コミュニケーション)コース



竹元 奈央 経済学部

授業では少人数で英語を話す機会がたくさん与えられるので、スピーキングスキルを確実に磨くことができます。カナダ研修では英語だけの授業や生活を体験することで、事前に副専攻の授業で身につけた英語力をさらに伸ばすことができました。

GC・SI副専攻:SI (ソーシャル・イノベーション)コース



松下 弘樹 経済学部

SIコースは、社会課題に当事者意識を持っている学生、英語を活用したい学生にとって素晴らしい機会です。SIコースを通して、魅力的な国内外の学生ととても仲良くなることができたことが貴重な経験になりました。

人権副専攻 (HR副専攻)



近藤 佳奈 商学部

HR副専攻は、視野を広げてくれただけでなく、自身の価値観を見直す機会にもなりました。人権が尊重された社会という答えのない目標に向かって考え続ける力は、今後の糧になるに違いありません。



食生産科学副専攻

農場から食卓までの食の
安全性担保の仕組みを学びませんか？
体験重視のプログラムです

gr-agri-shokufuku@omu.ac.jp



植物工場科学副専攻

農学と工学の両方の知識を有した
植物工場専門技術者養成のための
教育プログラム

wadoo@omu.ac.jp



創薬科学副専攻

製薬企業で活躍できる
グローバルな創薬研究者を
育成する

kyik-ddst-minor@ml.omu.ac.jp



GC・SI副専攻 (GCコース)

世界で活躍できるグローバルな人材を
育成します。将来役立つ実践的な英語
力を身につけよう！

kyik-gcc@ml.omu.ac.jp



GC・SI副専攻 (SIコース)

Be Innovative! あらゆる社会の
現場で主体的に課題発見・解決に取り
組めます。この経験は宝になる！

kyik-gcm-jimu@ml.omu.ac.jp



地域連携副専攻 (CR副専攻)

地域に飛び込み、地域の
スゴい人と一緒に考え、行動する、
ライブ感溢れる副専攻です！

kyik-crm@ml.omu.ac.jp



人権副専攻 (HR副専攻)

国際基準の人権概念を学び、
人権が尊重された社会のための
方策を仲間とともに考えます

rchr-hrm@ml.omu.ac.jp



情報システム学副専攻

kyik-sss-fukusenkou-jo@ml.omu.ac.jp

認知科学副専攻

kyik-sss-fukusenkou-nin@ml.omu.ac.jp

地域再生副専攻 (CR副専攻)

kyik-sss-fukusenkou-cr@ml.omu.ac.jp



副専攻プログラム

※地域連携副専攻および地域再生副専攻 (CR副専攻) については2024年度の新規募集は休止します。
2024年度入学生の方は2025年度に森之宮キャンパスを中心に新たに開設される予定の同種の副専攻に
参加可能となる見込みです。



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University